

植樹祭の苗木と応援団

植樹祭で植えた苗は ZORING を楽しんだ子供たちが育てた苗だった。
そして、素敵なおもちゃと映画のポスターがある「もりの学び舎」は、
森林の応援団を増やすきっかけになる予感がした。

11月26日火曜日、気仙地方林業振興協議会の植樹祭に参加した。場所は大船渡市三陸町越喜来にある「夏虫のお湯っこ」という温泉施設のそば。周辺には国有林はなく、余り馴染みのない地域だ。

主催者挨拶に続き、標柱建立、記念植樹のあと、参加者により広葉樹の苗を植えた。苗は、6月に「あばい森の学び舎！森林レクリエーション in 大窪山」の参加者が「苗木のホームステイ体験」として家庭で育てたものらしく、苗木には名札も付いている。育てた人の分かる苗だけに、皆さんいつもより慎重に植えていた気がした。五葉山の付近ということもあり、シカの食害が懸念されるのでシカよけのネットを丁寧に被せ、順調に育つことを願う。



植樹祭後は、6月にレクが行われた「大窪山森林公園のもりの学び舎」を訪れてみた。岩手県が開園し、今は指定管理者が管理しているらしいが、随分と山奥にある。それ故、自然豊かで野生動物も頻繁に目撃できるという。

目玉は、令和3年にリニューアルしたという木育スペース。「花巻おもちゃ美術館」を設立・運営している(株)小友木材店の施工とのことで、品の良い多彩な木製のおもちゃが揃えられている。一角には、6月のレクで ZORING を楽しんでいる様子の写真もあり、がぜん親近感が沸く。



全国植樹祭のレガシー作品などに混じり目を引いたのは、来年1月公開映画のポスター。マルチに活躍する若手俳優が大船渡市盛町の居酒屋でロケをしていたが、ここ学び舎周辺でもロケをしたそうで、主演者たちのサインが飾られていた。

映画がヒットしてここが聖地となり、地域に交流人口が増え、森林や木製おもちゃ、ZORING に親しむ人が増えるといいな。是非、「大窪山森林公園のもりの学び舎」(利用期間は5月～11月)に足を運んでほしい。

署長 山田亨

